

環境活動レポート

2009

(平成21年6月～平成22年5月)



北上ビルメン株式会社
北上市幸町2番5号

平成22年11月17日作成

目 次

◆ 環境方針	3
◆ 環境行動指針		
◆ 事業の概要	4
■ 事業所名及び代表者氏名		
■ 本社及び営業所所在地		
■ 環境責任者氏名及び担当連絡先		
■ 事業活動内容		
■ 許可証一覧	5
■ 事業の規模		
■ 廃棄物運搬車両		
■ 受託した産業廃棄物及び一般廃棄物の収集運搬量		
■ 実施体制	6
■ 教育・訓練の実施	7
■ 環境コミュニケーション		
■ 環境上の緊急事態への準備及び対応		
◆ 環境への負荷の現状	8
◆ 環境目標とその実績	9
◆ 環境活動の取組	13
◆ 環境活動の取組結果の評価		
◆ 環境関連法規への違反、訴訟の有無	...	14
◆ 産業廃棄物処理業としての組織概要	...	15

環境方針

北上ビルメン株式会社は社員全員で、ビルメンテナンス業・特別管理産業廃棄物及び産業廃棄物収集運搬・一般廃棄物収集運搬業・警備業において、現状よりさらに吟味し、コンプライアンスの徹底を図り、地域社会の環境保全に寄与し、孫・曾孫の世代に安心して安全な美しい自然環境を引継ぐように努力します。

環境行動指針

- 1 当社の事業活動に伴う環境負荷(二酸化炭素排出量・排水量・廃棄物)の低減に努めます。
- 2 事業活動に関連する法規制は確実に遵守することを誓約いたします。
- 3 業務車両のアイドリングストップなどによるエコドライブを実践し、省エネと排ガスの抑制に取組めます。
- 4 受託した一般・産業廃棄物の分別指導により再資源化に取組み、リサイクル率を向上させます。
- 5 グリーン購入を積極的に努める。
- 6 地域・社会貢献活動の推進に努めます。

この環境方針は従業員に周知すると共に社外にも公表する。

平成 18 年 5 月 18 日制定

平成 20 年 3 月 14 日改定

北上ビルメン株式会社

代表取締役社長 阿部利郎

1. 事業の概要

1) 事業所名及び代表者氏名

北上ビルメン株式会社 代表取締役社長 阿部利郎

2) 本社及び営業所所在地

本社 〒024-0033 岩手県北上市幸町 2 番 5 号

TEL 0197-64-3347 FAX 0197-63-6114

警備本部 〒024-0051 岩手県北上市相去町山田 2 番 8 号

北上オフィスプラザ 306 号

認証登録範囲

一関営業所 〒021-0893 岩手県一関市地主町 7 番 33 号

(H22 認証登録予定)

盛岡営業所 〒020-0021 岩手県盛岡市中央通り 2 丁目 11 番 17 号

(H23 認証登録予定)

宮古営業所 〒027-0085 岩手県宮古市黒田町 7 番 27 号

(H24 認証登録予定)

※次の営業所、事業所は数量把握が困難である為、認証対象外です。

花巻営業所 〒025-0065 岩手県花巻市星ヶ丘 2 丁目 27 番 22 号

仙台事業所 〒981-3133 仙台市泉区泉中央 1 丁目 5 番 1 号

※ 本社地図 ※ JR北上駅より、徒歩 5 分



3) 環境責任者氏名及び担当連絡先

責任者 管理部総務担当部長 平野 達郎

TEL 0197-64-3347 FAX 0197-63-6114

E-mail info@kbm1972.com URL <http://www.kbm1972.com>

4) 事業活動の内容

(1) ビルメンテナンス業

(2) 特別管理・産業廃棄物収集運搬業

(3) 一般廃棄物収集運搬業

(4) 警備業

(5) 一般建設業

認証登録範囲

※ 弊社は社員の大半がビルメンテナンス業の清掃部と警備部に属しており、大半の社員が請負先会社に常駐しております。よって環境負荷が、最も大きい本社業務 (1) から (4) の業務を認証登録範囲としました。請負先常駐社員の光熱水道費は先方持ちであり、各社の EMS への取り組みに従うことから範囲より除きました。

5) 認証範囲の許可証一覧

許可名	許可期間	許可番号	事業の範囲
建築物環境衛生総合管理業	H18.6.8～ H24.6.7	県知事登録 岩手県 54 十八総第1号	
建築物ねずみこん虫等防除業	H18.11.18～ H24.11.17	県知事登録 岩手県 54 十八ね第1号	
建築物飲料水貯水槽清掃業	H18.8.29～ H24.8.28	県知事登録 岩手県 54 十八貯第1号	
浄化槽保守点検業	H22.3.14～ H25.3.13	県知事登録 岩手県 21 (登)第80号	
産業廃棄物収集運搬業	H19.2.13～ H24.2.12	県知事許可 岩手県第 0302006606号	※1
” (盛岡市)	H20.4.1～ H24.2.12	盛岡市許可 盛岡市第 11002006606号	※2
特別管理産業廃棄物収集運搬業	H20.7.19～ H25.7.18	県知事許可 岩手県第 0352006606号	感染性産業廃棄物収集 運搬
” (盛岡市)	H20.7.19～ H25.7.18	盛岡市許可 盛岡市第 11052006606号	感染性産業廃棄物収集 運搬
一般廃棄物収集運搬業(北上市)	H22.7.4～ H24.7.3	北上市許可 北上市第 314号	一般廃棄物収集運搬

※1 汚泥・廃油・廃酸・廃アルカリ・廃プラスチック類・木くず・繊維くず・金属くず・ガラスくず・コンクリートくず（工作物の新築、改築又は除去に伴って生じたものを除く）及び陶磁器くず・がれき類（自動車等破砕及び特別管理産業廃棄物であるものを除く）※2 汚泥・廃油・廃酸・廃アルカリ・廃プラスチック類・木くず・繊維くず・金属くず・ガラスくず・コンクリートくず（工作物の新築、改築又は除去に伴って生じたものを除く）及び陶磁器くず・がれき類

6) 事業の規模

活動規模	2009年度 (2009年6月から2010年5月)	726名中
売上高	1,465百万円	本社 : 36名
(認証範囲業務)	1,122百万円	管制センター : 13名
従業員数	726人	北上待機所勤務 : 17名
対象従業員数	66人	営業所 : 4名
本社床面積	274.58 m ²	請負先常駐社員 : 654名

H22.5.31 現在

7) 廃棄物運搬車両

	塵芥収集車 1台	アルミバン 1台
車体の形状	塵芥車	バン
種類	普通	普通
積載量	1,500kg	2,000kg

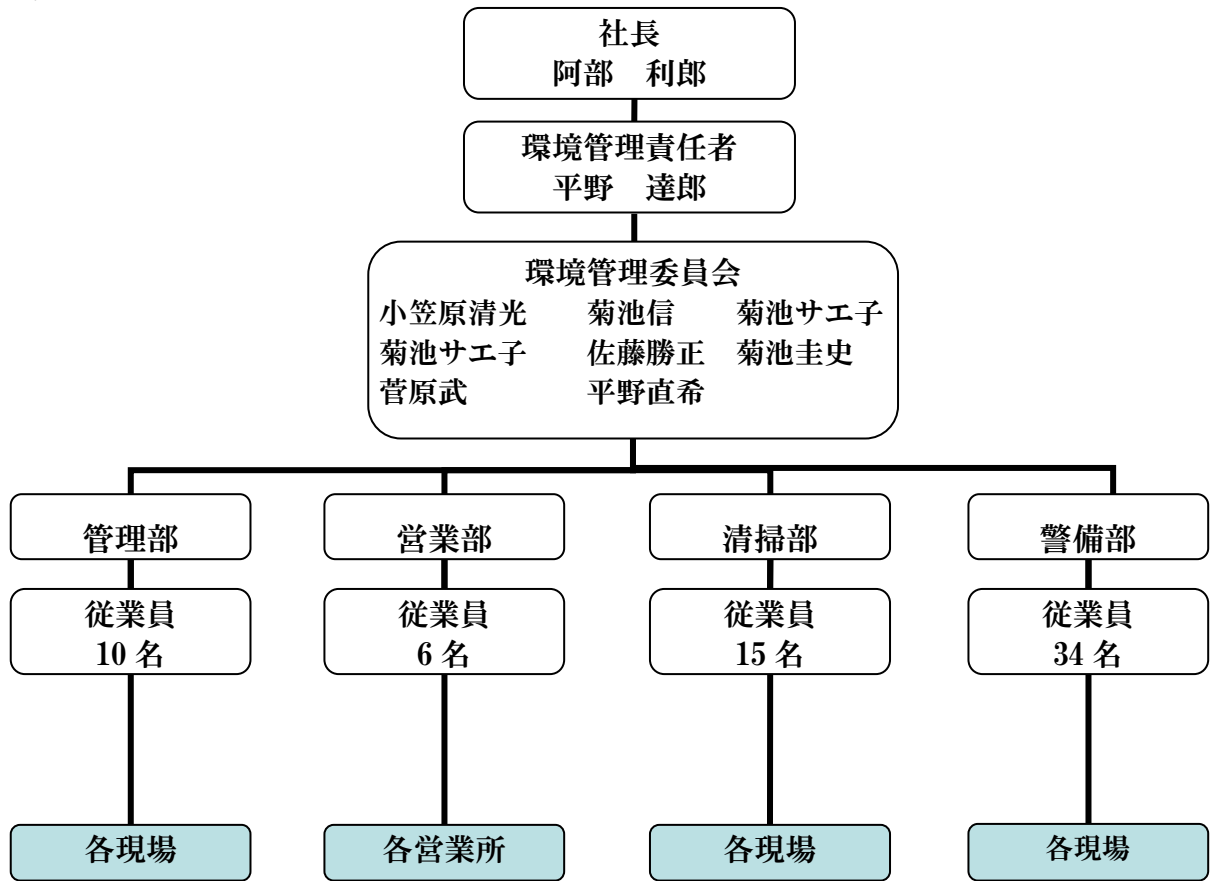
8) 受託した産業廃棄物及び一般廃棄物の収集運搬量

(平成21年度)

収集方法	廃棄物の種類	処理量 (kg)
収集運搬	可燃ごみ	42,840
	不燃ごみ	3,650
	リサイクル(紙、缶等)	26,670
収集運搬量合計		73,160

※平成21年度の産業廃棄物の収集運搬実績はございません。

9) 実施体制



■ は対象範囲外です。

役割	担当者	責任・権限
代表者	阿部社長	①環境管理責任者を任命する。 ②環境管理責任者からの報告を受け全体の見直しを行う。 ③取組に対する資源を用意する。
環境管理責任者	平野達郎	①代表者に代わってシステムを構築し、運用する。 ②代表者に結果を報告する。
環境管理委員会	小笠原清光 菊池信 佐藤勝正 菊池圭史 菅原武 菊池サエ子 平野直希	①環境目標・活動を作成し実施する。 ②必要な教育訓練を計画し実施する。 ③環境関連法規等の遵守状況を定期的に確認する。 ④環境目標・活動の実施状況を定期的に確認・評価する。 ⑤苦情等の受付結果をまとめる。 ⑥問題の是正処置及び予防処置を行う。
部門責任者	岡田潤滋 平野達郎 菊池信 岡島伸太郎 荒木元明	①省資源、省エネ、節水を奨励・実施する。 ②EA21 取組に関する教育訓練を受ける。 ③EA21 目標達成の取組を推進し、チェックし、環境管理責任者の了承の下必要な是正処置・改善を行なう。 ④苦情や要望については、各業務主管部長若しくは課長が窓口となり、その報告を受け必要な対応を行なう。
従業員		①部門責任者の下、省資源、省エネ、節水に努める。 ②EA21 取組に関する教育訓練を受ける。 ③自主的に会社の推奨する地域の自然保護活動に参加する。 ④改善提案を行なう。

9) 教育・訓練の実施

当社は、エコアクション 21 環境経営システムの取組を適切に実施するため、必要な教育・訓練を実施する。本社認証登録範囲該当者に対し、環境経営システムガイドライン、環境方針、環境目標及び環境活動計画についての教育を行う。環境関連法規制に関連する業務の担当者に対しては、法規制の内容、遵守手順、緊急事態への対応についての教育を行う。

今期の主な教育実施状況

	教育内容	講師等	対象者
1	階層別教育	環境管理委員	認証範囲従業員
2	緊急事態への対応	環境管理委員、リックス(株)	認証範囲従業員、収集業務従事者

10) 環境コミュニケーション

当社は「環境活動レポート」を作成しホームページにて公表しております。
また外部からの環境に関する苦情や要望等の情報を受け、必要な対応を行います。

11) 環境上の緊急事態への準備及び対応

環境上の緊急事態を想定し、その対応策を定める。また、可能な場合は定期的な訓練を実施する。当社では緊急事態として火災を想定し、初期消火をその対応策とする。また、遵守すべき環境関連法規制に関連して発生した場合、環境に及ぼす影響が大きいと考えられるものを緊急事態と想定する。

1. 想定される緊急事態及び対応策

想定される緊急事態	①火災発生によるCO ₂ の放出 ②消火剤の河川流出
想定される環境影響	①大気汚染、地球温暖化 ②水質汚濁
緊急事態の発生原因	①タバコの吸殻の不始末
緊急事態の予防策	①指定場所以外での喫煙の禁止 ②消防訓練の実施
緊急事態の対応策	①消防署への通報 ②避難誘導 ③初期消火
緊急事態の準備品	①消火器の設置
対応策実施の評価	駆け足で避難場所まで移動し、スムーズに点呼をとれた。消火訓練では、環境に配慮した水消火器で訓練を行った。正しい使用方法で落ち着いて消火器を使っていたので良かった。今後は、何年か毎に実際の消火器で火を付けた訓練も行っていきたい。

【訓練風景】

想定事態の内容

- ・事務所2F給湯室から火災発生
- ・塵芥収集作業中、突然荷台で爆発・火災発生

[平成21年7月14日]

緊急事態の対応訓練

- ・消防署への通報
- ・避難誘導
- ・初期消火



2. 環境への負荷の現状

本社及び警備本部

〈総エネルギー投入量と二酸化炭素排出量〉

	エネルギー消費量 電力:kWh LPG:kg ガソリン等:ℓ			二酸化炭素排出量 (kg-CO ₂)		
	2007年度	2008年度	2009年度	2007年度	2008年度	2009年度
電力	87,345	85,701	82,309	324,551	318,442	305,838
LPG	6,667	6,138	6,178	20,001	18,414	18,546
ガソリン	22,865	27,730	25,112	53,046	64,333	58,301
軽油	18,927	17,646	16,598	49,588	46,232	43,558
灯油	5,311	5,078	5,753	13,224	12,644	14,336
合計				460,410	460,088	440,579

〈資源投入量〉

	2007年度	2008年度	2009年度
上水	379 m ³	309 m ³	314 m ³

※総排水量を把握するには困難であるため、上水使用量を数値と致しました。

〈資源投入量〉

	2007年度	2008年度	2009年度
コピー用紙	795.8Kg	799.4Kg	784.8Kg

〈廃棄物排出量〉

	当社排出廃棄物量		
	2007年度	2008年度	2009年度
単純焼却	202.8 kg	368.1 kg	325.9kg
埋め立て	12 kg	19.4 kg	23.8kg
再生利用	951.9 kg	1,314.8 kg	1,400.2kg
合計	1,166.7 kg	1,702.3kg	1,750.9kg
リサイクル率	81.6%	77.24%	80%

※2007年度から警備本部の集計を開始。

警備本部の上水使用量は、オフィスプラザ内共有使用の為、集計不可。

3. 環境目標とその実績

3-1 2009年度の環境目標

環境負荷低減の取組を始めてから3年が経ち、実績値が安定してきている為、今後あまり使用量の削減に期待できないことから、2009年度より目標数値を低く設定し、中期目標を目指し取組むことと致しました。

本社及び警備本部の基準値を2008年度に設定し、以下の目標を設定しました。

A 総エネルギー投入量の削減

- (1) 電気使用量を基準年度対比で毎年2%削減 (2011年度中期目標6%削減)
- (2) 自動車燃料を基準年度対比で毎年1%削減 (2011年度中期目標3%削減)

B 資源投入量の削減

- (3) 水道使用量を基準年度対比で毎年1%削減 (2011年度中期目標3%削減)
- (4) 印刷用紙使用量を基準年度対比で毎年2%削減 (2011年度中期目標6%削減)

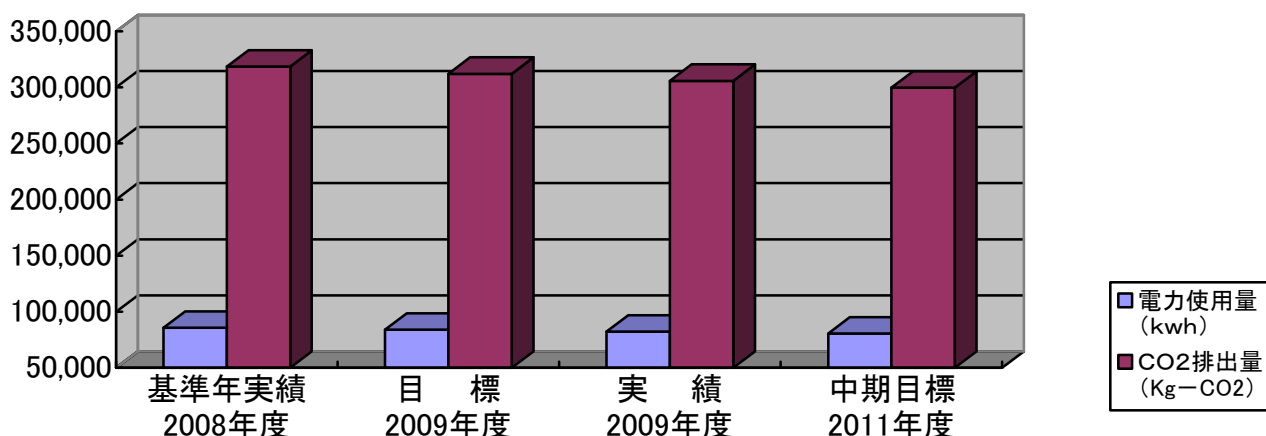
C 廃棄物総排出量の削減

- (5) 当社から排出される廃棄物のリサイクル率を基準年度対比で毎年1%アップ (2011年度中期目標3%削減)
- (6) 受託した廃棄物のリサイクル率を基準年度対比で毎年1%アップ (2011年度中期目標3%削減)

3-2 環境への取組実績

(1) 電気使用量について

	基準年実績 2008年度	目標 2009年度	実績 2009年度	中期目標 2011年度	目標達成率
電力使用量 (kwh)	85,701	83,987	82,309	80,661	102%
CO2排出量 (Kg-CO2)	318,443	312,074	305,839	299,716	



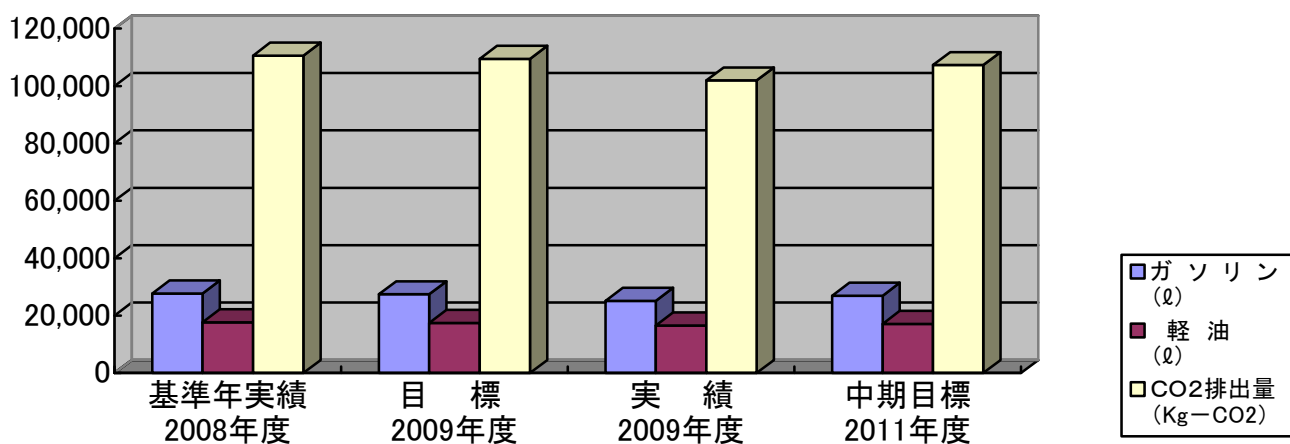
【具体的な取組】

- ・ 昼休み・退社時の消灯の励行。
- ・ 冷暖房機の待機電力カット。
- ・ クールビズ・ウォームビズにより冷暖房使用の抑制。
- ・ 冷暖房温度を適正にする。(夏場28℃、冬場20℃)
- ・ 扇風機を使用し、室内の温度適正にする。
- ・ 室内保温効果を高める対策をする。



(2) 自動車燃料の使用量について

	基準年実績 2008年度	目標 2009年度	実績 2009年度	中期目標 2011年度	目標達成率
ガソリン (ℓ)	27,730	27,453	25,189	26,906	108.9%
軽油 (ℓ)	17,646	17,470	16,598	17,122	105.2%
CO2排出量 (Kg-CO2)	110,566	109,460	101,925	107,282	107.3%



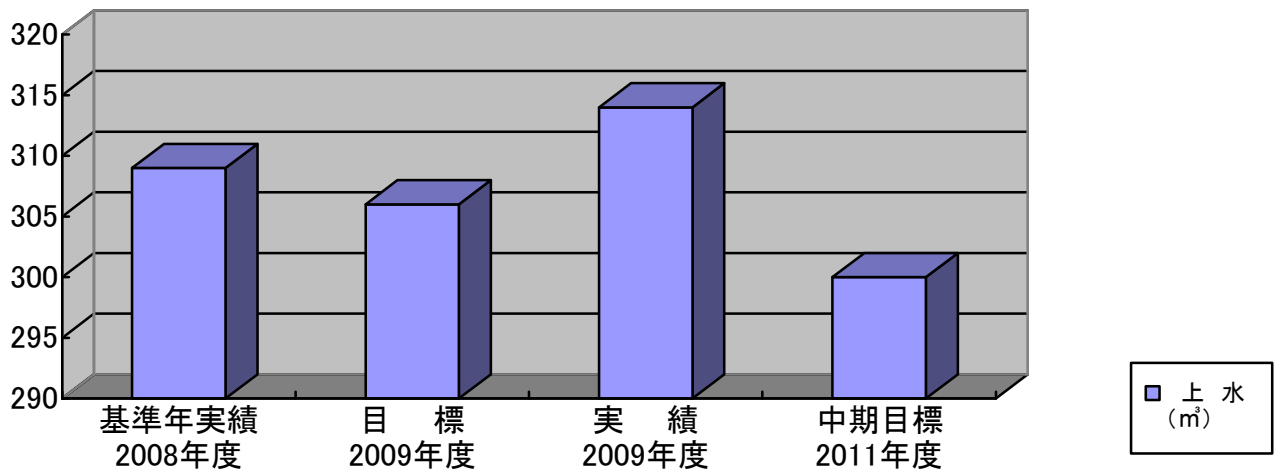
【具体的な取組】

- ・エコドライブの推進。
- ・急発進・急加速を抑制する。
- ・車輛整備（タイヤ空気圧）などを適正に実施する。
- ・走行数・燃料使用量の把握、管理。
- ・道路交通情報の活用。

(3) 水道の使用量について

※総排水量を把握するには困難であるため、上水使用量を数値と致しました。

	基準年実績 2008年度	目標 2009年度	実績 2009年度	中期目標 2011年度	目標達成率
上水 (m ³)	309	306	314	300	97.4%



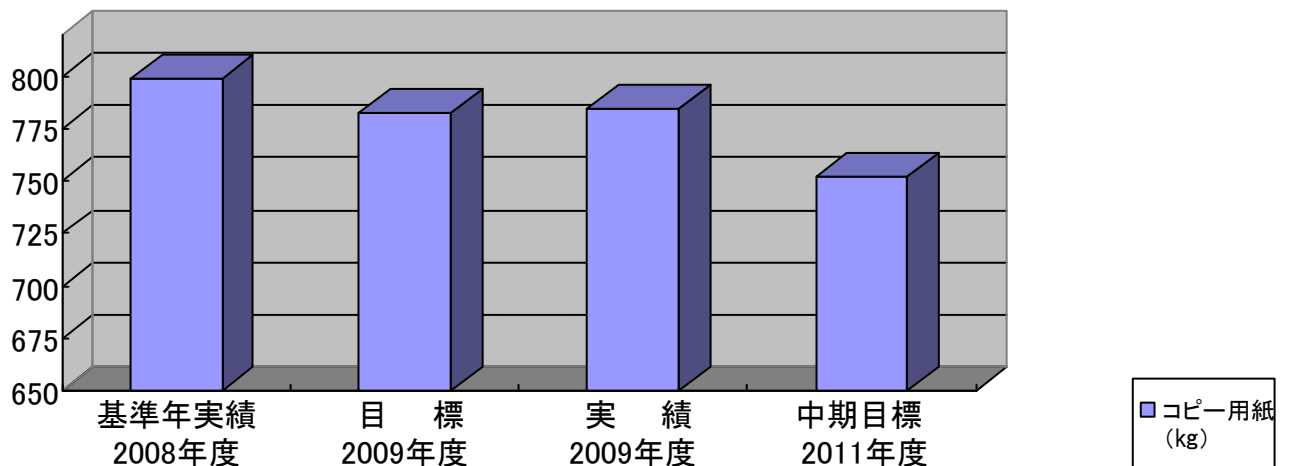
【具体的な取組】

- ・ 節水表示をする。
- ・ バケツ洗車を行う。
- ・ 雨水タンクの洗車使用。



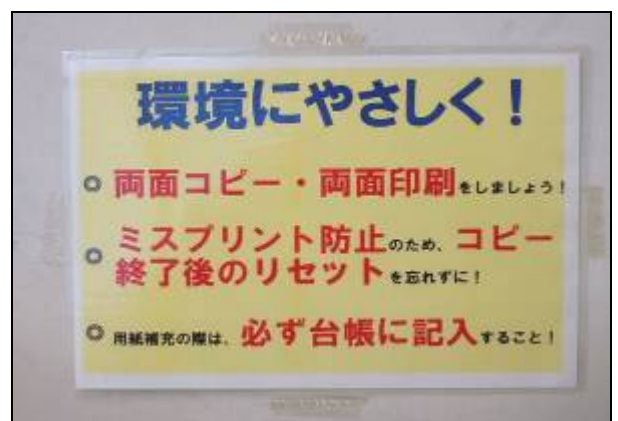
(4) 印刷用紙の使用量について

	基準年実績 2008年度	目標 2009年度	実績 2009年度	中期目標 2011年度	目標達成率
コピー用紙 (kg)	799	783	784.8	752	99.8%



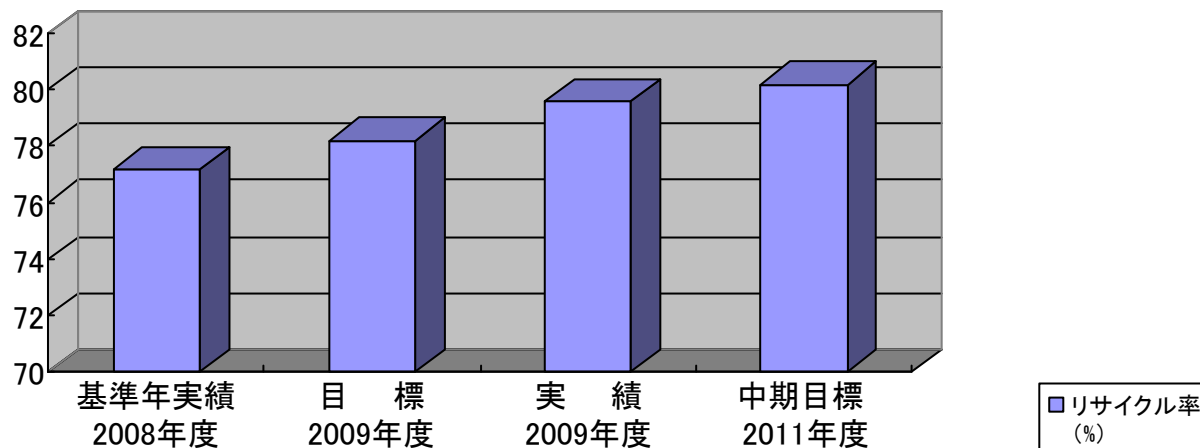
【具体的な取組】

- ・ 両面コピー、両面印刷の徹底
- ・ 使用済み用紙の裏紙印刷。
- ・ ミスプリントをなくすため、コピー終了後のリセットの徹底。
- ・ メールや回覧などで印刷量の削減を図る。
- ・ 不要な機密書類には、スタンプを押して裏紙用紙にする。



(5) 当社排出廃棄物量について

	基準年実績 2008年度	目標 2009年度	実績 2009年度	中期目標 2011年度	目標達成率
リサイクル率 (%)	77.2%	78.2%	79.6%	80.2%	101.7%



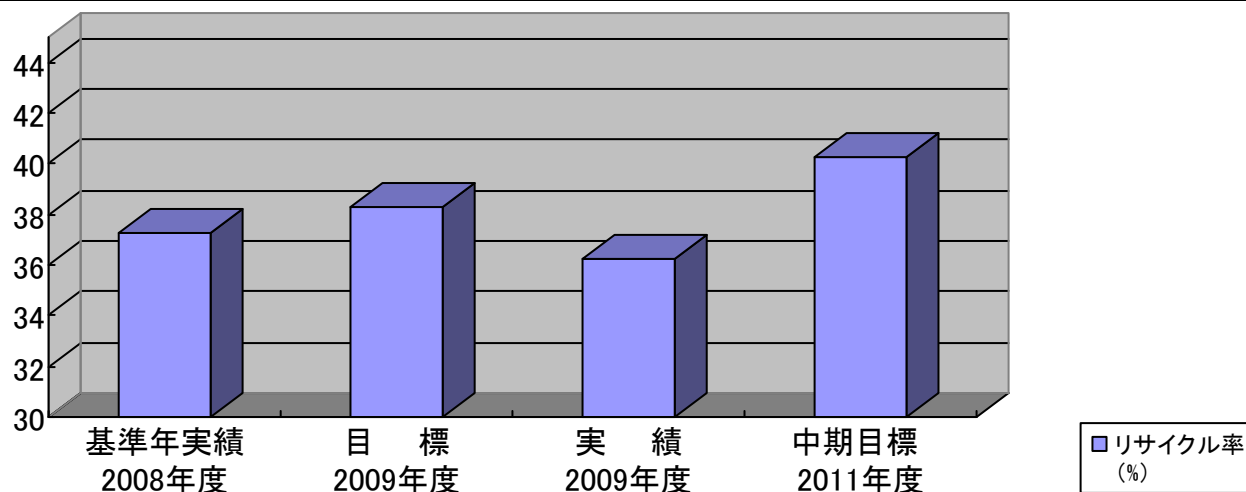
再生利用：紙、新聞・公告、雑誌、ダンボール、プラスチック、ペットボトル、缶、ビン

【具体的な取組】

- ・使用済み用紙の裏紙利用
- ・紙のリサイクル分別（機密書類以外の分別）
- ・持込んだ新聞・雑誌類などは各自持ち帰る

(6) 受託した廃棄物量について

	基準年実績 2008年度	目標 2009年度	実績 2009年度	中期目標 2011年度	目標達成率
リサイクル率 (%)	37.3%	38.3%	36.2%	40.3%	94.5%



※再生利用：紙、新聞・公告、雑誌、ダンボール、プラスチック、ペットボトル、缶、ビン

【具体的取組】

- ・顧客へのリサイクル協力依頼を率先して行う（紙のリサイクル分別の徹底）





環境標語

優秀賞
 気配りと創意工夫で今日もエコ
 身近なことから 続けよう

優秀賞
 地球保護 未来に繋げる
 生命のリレー

優秀賞
 続けよう 分別 省エネ リサイクル

優秀賞
 知恵を出し、小さな事からコツコツと
 これが本当の エコロジー

4. 環境活動の取組

- (1) (社) 岩手県産業廃棄物協会が岩手県から運営を委託されている「岩手県産業廃棄物処理業者育成センター」の行なう格付け制度において、2010年度基準適合業者として認定されております。認定番号2010-056 収集運搬業★★です。
- (2) 岩手県の「環境にやさしい事業所認定制度」については「エコスタッフ」（岩手県が行なうエコスタッフ養成セミナー修了者）2名を擁しており、エコアクション21認証・登録が得られたことにより認定されております。 認定番号19-4-49 ★★★★★です。
- (3) 社会貢献活動として、週1回程度、会社周辺の清掃活動をしております。また、当社と受託先業者で排出したペットボトルのキャップをエコキャップ推進協会に寄付しております。
- (4) グリーン購入については、年賀ハガキをカーボンオフセットにするなど、目標としていた適合商品40品目をクリアすることができました。

5. 環境活動の取組結果の評価

今年度の環境負荷低減活動を取りまとめ、平成22年6月24日、代表者と環境管理委員会で環境への取組結果の評価を行い次の通りとなりました。

No.	項目	評価
A	総エネルギーの投入量の削減	○
A-(1)	電気使用量の削減	○
A-(2)	自動車燃料の削減	○
B	資源投入量の削減	×
B-(3)	水使用量の削減	×
B-(4)	印刷用紙の削減	×
C	廃棄物総排出量の削減	△
C-(5)	当社排出廃棄物量のリサイクル率向上	○
C-(6)	受託した廃棄物量のリサイクル率向上	×

- ・電気使用量について

目標数値を達成できた。夏場の気温が例年よりも低くエアコンの使用量が抑えられたことが大きな要因に上げられる。冬場に関しては保温材を窓際に設置したことにより、室内の保温が保たれたこと、事務員が自発的に膝掛け毛布を活用するなど、エコ意識が高まってきたことにより、暖房使用抑制に繋がりました。

- ・自動車燃料について

目標数値を達成できた。エコドライブ、アイドリングストップを徹底していることにより使用量削減に繋がった。また、警備業務においてはお客様のセット忘れによる出動回数が指導により減少したことも要因に上げられる。

- ・水使用量について

使用量が全体的に増えてしまい目標数値に至らなかった。警備車両において冬期間以外ほぼ毎日洗車していることが要因に上げられる。洗車の方法を検討する。また、飲み水などにおいても出しっぱなしなどないよう再度注意する。

- ・印刷用紙について

両面印刷や裏紙利用が実行され使用量を抑制していたが、入札時期に使用量が大幅に増えたことにより目標数値に至らなかった。今後は業務に支障の無い可能な範囲で抑制していく。

- ・当社排出廃棄物のリサイクル率について

安定した分別がなされ目標数値を達成できた。総排出量が増えてしまったので、今後は無駄なごみを出さないようにする。

- ・受託した廃棄物について

各顧客において分別のご協力を行っているが、目標数値に至らなかった。臨時で不燃ごみの収集を行ったのが要因と考えられる。今後も分別及びリサイクルのお願いを続け、総排出量を抑え、リサイクル率を上げていきたい。

【代表者のコメント】

目標数量を全項目達成出来なかったことは残念でありましたが、環境標語を募集したところ、多くの社員から標語が集まったことや社員同士で案を出し合うなど自発的に行動するようになり、環境に対する意識の向上が見られた点は評価しております。会社での取組みはもちろんです。家庭でも取組みを進んで行ってほしい。社員一丸となり知恵を絞りより良い環境活動に取組んでいきましょう。

北上ビルメン株式会社
代表取締役 阿部 利郎

6. 環境関連法規への違反、訴訟の有無

内 容	結 果
環境関係法律違反の有無	無
訴訟の有無	無

環境関連法規について、平成 22 年 5 月 31 日当社チェック表でチェックした結果及び環境に関するクレーム受付の結果から環境関連法規への違反はありません。また、関係当局よりの違反等の指摘はありません。

以 上
(作成 平野達郎)

産業廃棄物処理業としての組織概要

事業所名		北上ビルメン株式会社						
代表者名		代表取締役社長 阿部 利郎						
所在地		北上市幸町 2 - 5						
環境管理責任者		平野 達郎						
エコアクション2.1担当者		平野 直希						
連絡先		電話	0197-64-3347	ファクス	0197-63-6114			
		E-mail	info@kbm1972.com					
		UCL	www.kbm1972.com					
事業活動の内容		(1)ビルメンテナンス業 (2) 特別管理・産業廃棄物収集運搬業 (3) 一般廃棄物収集運搬業 (4) 警備業 (5) 一般建設業						
事業の規模	事業年度		1 9 F y	2 0 F y	2 1 F y			
	売上高 (百万円)		1,563	1,535	1,465			
	収集運搬売上高 (百万円)		7	7	7			
	総収集運搬量(t)		79.9	66.1	73.1			
	全社員・従業員(名)		762	772	726			
法人設立年月日		昭和 47 年 11 月 28 日	資本金	2 0 百万円				
許可の内容	許可名/許可番号	年月日		事業計画・事業の範囲 (事業区分、廃棄物の種類)				
	建築物環境衛生総合管理業 岩手県 54 十八総第 1 号	許可	H18. 6. 8					
		有効	H24. 6. 7					
	建築物ねずみこん虫等防除業 岩手県 54 十八ね第 1 号	許可	H1811. 18					
		有効	H24. 11. 17					
	建築物飲料水貯水槽清掃業 岩手県 54 十八貯第 1 号	許可	H18. 8. 29					
		有効	H24. 8. 28					
	浄化槽保守点検業 岩手県 21 (登) 第 80 号	許可	H22. 3. 14					
		有効	H25. 3. 13					
	産業廃棄物収集運搬業 岩手県第 0302006606 号	許可	H19. 2. 13		汚泥・廃油・廃酸・廃アルカリ・廃プラスチック類・木くず・繊維くず・金属くず・ガラスくず・コンクリートくず (工作物の新築、改築又は除去に伴って生じたものを除く) 及び陶磁器くず・がれき類 (自動車等破砕物及び特別管理産業廃棄物であるものを除く)			
		有効	H24. 2. 12					
	産業廃棄物収集運搬業 盛岡市第 11002006606 号	許可	H20. 4. 1		汚泥・廃油・廃酸・廃アルカリ・廃プラスチック類・木くず・繊維くず・金属くず・ガラスくず・コンクリートくず (工作物の新築、改築又は除去に伴って生じたものを除く) 及び陶磁器くず・がれき類			
		有効	H24. 2. 12					
	特別管理産業廃棄物収集運搬業 岩手県第 0352006606 号	許可	H20. 7. 19		感染性産業廃棄物収集運搬			
有効		H25. 7. 18						
特別管理産業廃棄物収集運搬業 盛岡市第 11052006606 号	許可	H20. 7. 19		感染性産業廃棄物収集運搬				
	有効	H25. 7. 18						
一般廃棄物収集運搬業 北上市第 265 号	許可	H22. 7. 4		一般廃棄物収集運搬				
	有効	H24. 7. 3						
設備	設備名	能力・産廃の種類	台数	設備名	能力・産廃の種類	台数		
	塵芥収集車	積載量 1,500 k g	1					
	アルミバン	積載量 2,000 k g	1					

処理方法・処理工程

産業廃棄物

排出事業者

収集運搬

中間処分業者及び最終処分業者
(リサイクルを含む)

特別管理産業廃棄物

感染性廃棄物

収集運搬

焼却場

当社は積み替え保管は行っておりません。

廃棄物処理料金	収集運搬物・処理物	標準価格	単位	受入基準・処理方法
	塵芥収集車	15,000	台・日	
	上記の料金は分別済み・梱包済みで当社から10km以内の収集範囲の価格です。 廃棄物の処理料金については品目ごとに個別対応で見積いたします。お問い合わせ下さい。			

産業廃棄物の処理量

平成21年度

処理方法等	廃棄物等種類	処分方法等	処理量 t
収集運搬	汚泥		0
	廃油		0
	廃プラスチック		0
	紙くず		0
	木くず		0
	繊維くず		0
	動植物性残渣		0
	金属くず		0
	ガラスコンクリ陶		0
	がれき類		0
	ゴムくず		0
	混合廃棄物		0
	収集運搬量合計		

組織概要

